



広報 かどま

平成28年 (2016)

9

No. 1180

月号

(毎月1日発行)

THE CITY OF KADOMA

- 8月30日～9月5日は防災週間 2
- 2つの給付金申請受付を開始 3
- 市立小学校の就学前健康診断 4
- 29年度市立幼稚園児を募集 7
- 第3回生涯学習フェスティバル 10

門真市役所 / 〒571-8585 門真市中町1番1号 ☎06(6902)1231 ☎072(885)1231
 編集と発行 / 総合政策部秘書広報課 ホームページ <http://www.city.kadoma.osaka.jp/>
 配布に関する問い合わせ ☎0120(934)571 広報かどまは「門真市シルバー人材センター」が全戸に配布しています

人口12万5051人 (男6万1773人、女6万3278人) 世帯数6万1574世帯
 転入367人 転出407人 出生61人 死亡91人
 (28年8月1日現在 転入・出などは28年7月中の数字)

再生の風をわがまち・門真に

7月24日に投開票された門真市長選挙で、宮本一孝市長が新市長に就任され、7月25日午後1時、市民や支持者、市議会議員、市職員など多数が出迎える中、笑顔で初登庁されました。

「門真のまちの再生」を掲げて市長に選ばれた宮本一孝新市長に、その思いをお伺いしました。



市庁舎前で多くの市民の出迎えを受ける市長



子育てしやすいまち・
 お年寄りが安心して暮らせるまちへ

——市長になろうと思われたきっかけ、理由をお聞かせください

もともとは、政治家にならなかったというよりは、政策スタッフや政治のサポート側になりたかったんです。

平成11年に門真市議会議員となり市政に係わっていく中で、最終的な市の政策実現は、市長にならないとできないと、感じるようになりました。

——宮本市長は、門真市のご出身ということですが、市内での子どもの頃の思い出はありますか

私は、元町で育ちました。近所の門真神社でよく遊びましたね。小学校の高学年のころには、門真神社のお祭りで披露する、獅子舞の横笛を練習していました。



現在の門真神社 (撮影者：金岡明光さん)

そのころの子ども会活動で、昭和57年7月に起こった長崎大水害の募金活動を、京阪門真駅と西三荘駅で行いました。その時の思い出などを作文に書き、

子ども会のコンクールで表彰されたのが印象に残っています。

——新市長に就任されて、これからどのように市政運営を進められるのでしょうか

自分自身がこれまで考えてきたことを、しっかり議論を積み上げて、一つひとつ形にしていきたいですね。

地方自治体というものは、得てして政治的な動きの中で翻弄されてしまうものですが、当たり前前のことを当たり前前に積み重ねていけば、もっとみんな気持ちよく行政の仕事がまわせるのではないかと考えています。

——今後の新しいまちづくりについて、お聞かせください

都市ではあるけれども、人と人との距離が近く、温もりがある門真のいいところは残していきたいですね。

活発でワクワク感のあるまちになれば、若い世代・子育て中の人も集まってくるでしょうし、利便性の良いまちであれば、お年寄りも安心して暮らせると思います。

まちをしっかり活気づけて、人のエネルギーが感じられるまちにしていきたいです。

——ありがとうございました。最後に市民の皆さんにメッセージをお願いします

私ひとりの力では、これからのまちづくりや政策の実現は難しいと思っています。

議員や職員の皆さんはもちろんのこと、市民の皆さんお一人おひとりも、門真市を活気づけよう、元気にしていこうという思いをひとつにして、これからの新しい門真市をつくっていきましょう。よろしくおねがいいたします。



宮本一孝市長のプロフィール

生年月日 昭和45年8月6日
 出身地 大阪府門真市
 経歴など 平成11年3月 関西大学経済学部卒業
 平成11年5月 門真市議会議員
 平成19年4月 大阪府議会議員
 趣味 読書、落語
 座右の銘 花の咲かない冬の日は、下へ下へ根を下ろそう